
令和元年11月18日 草津市協働のまちづくり推進本部会議

開催日時 令和元年11月18日(月) 午前10時40分～午前11時15分

開催場所 庁議室

出席者 山本副市長、北中副市長、教育長、総合政策部長、総合政策部理事(公社担当)兼危機管理監、総合政策部理事(草津未来研究所・行政経営担当)、総務部長(兼法令遵守監)、まちづくり協働部長、環境経済部長、健康福祉部長、健康福祉部理事(健康福祉政策担当)、子ども未来部長、都市計画部長、技監、建設部長、上下水道部長、教育部長、教育部理事(学校教育担当)、議会事務局長、監査委員事務局長

欠席者 市長

議事概要 下記のとおり

2. 協議案件

(1)第2次草津市協働のまちづくり推進計画策定に向けて

【事務局】

<資料1に基づき説明>

【主な質疑・意見】

・計画本編に「第5次草津市総合計画」との記載があるが、第2次計画期間中に「第6次草津市総合計画」になるが、記載内容を検討すべき。

→検討する。

・新規事業の③と④は逆の方が良い。

→検討する。

・新規事業③の説明文に、「補助制度の設計・運用に向けて取り組む必要があります。」とあるが、下の例では、資金の集め方や、支援の在り方について示しているため、説明文で補助制度に限定しないほうが良い。

→整理し、検討する。

・新規事業⑤について、市の人的支援としてどのように協働体制として、どのように人的支援をしていくのかまだ確立されていない中で、協働担当だけを配置するのはいかがなものか。

→職員の養成をしながら、取組の内容をまちづくり協働課と探り、積極的に地域に出ていくということを考えている。本文の説明については検討する。

・担い手が不足するが人材がないわけではないとの説明があったが、今いる担い手の候補が担い手としてなっただけでない理由を追求、分析し、その方達に対する短期的な取組を検討すべきではないか。

→当計画では長期的な部分での打破という想いで事業を検討している。短期的な部分では、日々の業務の中から地域の方と話をしながら探り出していくという要素が強いと感じている。

・体系図の見せ方が現計画から大きく変わっているが理由はあるか。

→現計画は6つの主体が連携・協力して、市が下から支援していくという体系になっていたが、第2次計画では市も横並びで記載している。審議会委員から、「見にくい」という意見があったため、7つの主体が連携・協力していくという意味合いから、見せ方を変えた。期待される取組や、具体的施策も同じように見易さを考慮し、体系図からは省き、P18～P26で主体毎にまとめている。

このページのお問合せ

草津市まちづくり協働部 まちづくり協働課 市民活動推進係

電話 077-561-2337 FAX 077-561-2482

メール machi@city.kusatsu.lg.jp